

■CIS各地報告

<ベトナム-2>

日程	2014年9月7日(月)～月20日(日)14日間
場所	・FUJIKIN BAC NINH INC. ・ハノイ工科大学
参加者	・大阪大学 工学研究科2名 外国部学部2名 ・ハノイ工科大学 講師1名 M1 1名 情報工学部2名
引率者	大阪大学4名

<概要>

事前研修では、コミュニケーションスキルなどについての講義も行われ、企業実習では、バルブ専用継ぎ手の組み立てと溶接などの作業実習も行いました。

2つのグループに分かれて活動しましたが、共通の課題としてベトナム学生には「ベトナムの将来はどうあって欲しいか」、日本学生には「理想的なベトナムの将来を実現させるために、日本人としてどんな貢献ができると思うか」が与えられました。

ベトナム人学生と日本人学生とで、語学力に相当の開きがあり、日本人学生への負担が増してしまったことと、現地企業の工場がまだフル稼働していなかったため講義中心の研修が多くなりましたが、同社他工場の見学や他企業への見学なども盛り込むことで、広い角度から実習ができました。

学生たちには、特に日本の製造業の現状とアジア諸国との連携を説いた社長の講義がヒントになったようで、社長の話を参考にしつつも、自分たちが直接見聞きした事実を基に立論していく姿勢が見られました。

今回のような大きなテーマや課題を設定する場合には、もっと事前学習を充実させる必要性が感じられました。事前に情報提供した参考文献に目を通してから参加した学生が少なかったのが残念でした。